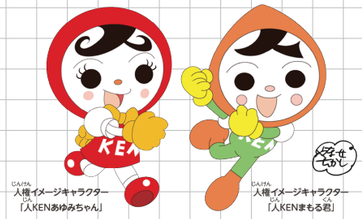
11 月は人権啓発強調月間「第 26 回みなみ・にこにこ人権フェスティバル」を開催します。

テーマ：「ありのまま　そんな自分を　大切に」



同和問題をはじめとする人権問題を解決するためには、私たち一人ひとりが、「人権は自分自身の生活に深く関わる自らの課題」との認識を持ち、それに対する理解を深めることが必要です。

美波町では11月を「人権啓発強調月間」と定め、11月23日(土･祝)に、日和佐公民館において「第26回みなみ・にこにこ人権フェスティバル」を開催します。

今年は、UNITED BROTHERS(ユナイテッド・ブラザーズ)をお迎えして人権コンサートを実施します。

みなさんの身の回りにある人権について学んでみませんか?ご参加お待ちしています。

ひとりで悩まずご相談ください。

【女性の人権ホットライン】

徳島地方法務局と徳島県人権擁護委員連合会では、女性をめぐる様々な人権問題の解決を図るため、下記のとおり電話相談の強化週間を実施します。期間中は相談時間を延長するとともに、土・日曜日及び祝日も相談を行います。

- ●実施期間：令和6年11月13日(水)から同月19日(火)までの7日間
- ●受付期間：午前8時30分から午後7時まで
  ただし、土曜日・日曜日・祝日は午前10時から午後5時まで
  ※強化週間以外の日は平日の午前8時30分から午後5時15分まで
- ●開設場所：徳島地方法務局人権擁護課(土・日・祝日は高松法務局人権擁護部)
- ●電話番号：0570(070)810　(全国共通ナビダイヤル)
  ※一部のIP電話からはご利用できない場合があります。
  インターネットでも人権相談を受け付けています。
  https://www.jinken.go.jp/　(パソコン・携帯電話・スマートフォン共通)
- ●取扱内容：ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー、離婚問題、暮らしの悩みごとなど女性をめぐる人権問題
- ●その他　：相談は無料、秘密は厳守します。

【性犯罪・性暴力に関するご相談】

- ●SNSで相談：Cure time(キュアタイム)
- ●電話で相談：性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター #8891
  性犯罪被害相談電話(警察) #8103

【配偶者・交際相手からの暴力に関するご相談】

- ●SNSで相談：DV相談プラス
- ●電話で相談：DV相談ナビ #8008

11 月 12 日～ 11 月 25 日
「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

年齢・性別を問わず、お気軽にご相談ください。

町民一人ひとりが相手を思いやり、多様な価値観を認め合う社会をめざしましょう。
「心温かい人々が暮らす、にぎやかな過疎の町」美波町であり続けるために人権について考え守っていくことがまさに、“にぎやかそ”美波町まちづくりにつながります。このコーナーでは人権に対する思いを掲載していきます。

ウミガメ News Letter No.35

黄色いそうめんの正体

ウミガメが産卵する砂浜は、高温、乾燥、高塩分、強風、砂という不安定な足場など、植物には厳しい環境ですが、例えば大浜海岸には、ハマヒルガオ、コウボウムギ、ハマボウフウ、ハマゴウ、ハマオモト(浜百合)など様々な海浜植物が見られます。これらには、砂浜の地形を維持し、その生態系を支える役割があるので、ウミガメの産卵環境を知る上でも、きちんと学ぶ必要があります。そんな大浜海岸で、ハマゴウに絡みつく「黄色いそうめん」の存在が気になっていました。ハマゴウは、背は低いもののしっかりとした幹、枝、根を持った木の仲間です。その枝葉は風に吹き飛ばされる砂を捉えて、浅く広く張った根は捉えた砂を留めるので、ウミガメの産卵場には重要な植物です。そのハマゴウに絡みつく「黄色いそうめん」はネナシカズラの仲間です。この仲間は地中に根を張ることなく、絡みついた植物から栄養を吸い取る寄生植物です。この「黄色いそうめん」は以前から確認していたのですが、今年はその勢いが強く、あちらこちらで絡みつかれ葉を落とし弱ったハマゴウが目立ちました。この「黄色いそうめん」について調べてみたところ、第一候補にアメリカネナシカズラという移入植物が上がりました。アメリカネナシカズラは北アメリカが原産地で、種は2㎜と小さく動物に食べられても長い間、発芽する能力を失わない繁殖能力が高い植物です。1970年頃に多摩川で確認されて以来、現在では日本全土に拡がり、環境省によって要注意外来生物に指定されました。一方、第二候補に上がったハマネナシカズラは同じネナシカズラの仲間ですが、こちらは在来種で、国内の生育地が10カ所以下にまで減少して絶滅危惧種に指定されています。移入種か絶滅危惧種か、大いに悩み、徳島県立博物館の上席学芸員の小川さんに相談したところ、さっそく現地調査をして頂き、「黄色いそうめん」の正体は、ハマネナシカズラと判明しました。この調査によって、ウミガメ産卵場として天然記念物に指定されている大浜海岸には、希少なハマネナシカズラが今なお生育している事が判りました。

(館長：平手康市)

ハマゴウに絡みつく「黄色いそうめん」ハマネナシカズラ
見た目はアレですが、小さく白い花は可愛いです。

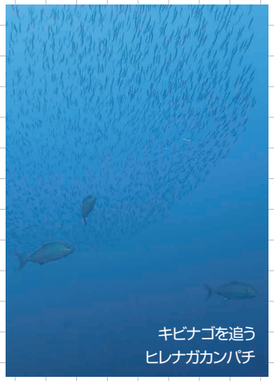
うみがめについての質問をお送りください。
お答えします!
〒779-2304 徳島県海部郡美波町日和佐浦369 うみがめ博物館カレッタ「質問係」
応募フォーム

Question ウミガメはどうして何回かに分けて産卵するの?

Answer 生き残ることが難しい海で子孫を残すためには出来るだけたくさんの卵を産む必要があります。しかし、海中を素早く泳ぐように進化したウミガメの体内には隙間が少ないので、何回かに分けてできるだけ多く産卵しているようです。

みなみの海のいきもの図鑑

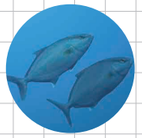
太平洋に面する美波町では多くの生き物たちが生息しています。このコーナーでは実際に撮影してきたリアルな写真と共にいろんな生き物たちをご紹介します!


キビナゴを追う
ヒレナガカンパチ

夏の海

この原稿がみなさんのお手元に届く頃には寒いシーズンに突入しているかもしれませんが、賑やかだった夏の海の中をご紹介したいと思います。夏は様々な生物の繁殖行動が活発になり、あちらこちらでたくさんの稚魚が泳いでいたりして大変賑やかです。中でもエサとなるキビナゴの大群を追って突然現れるカンパチの群れは見応えがあります。今回確認したのはヒレナガカンパチで、成長すると体長 1m 以上になり、イワシ、アジ、イカなども食べます。ヒレナガカンパチは沿岸部の中層から下層あたりで行動するブリの仲間です。(ダイバー：長楽美保)

ヒレナガカンパチと
一緒にキビナゴの群れに
突っ込むマダイ


ヒレナガカンパチ
(長い背ビレが特徴)